

平成29年度 事務事業評価シート(実施計画事業 **経常事業**)

事業の概要	事務事業名	青少年健全育成推進事業				担当部	こども未来部				
	会計区分	一般会計				担当課	こども政策課				
	事業期間	平成26年度以前		～	平成30年度まで		担当係	青少年育成係			
	基本施策・展開方向	3	教育・子育て	13	子育て支援	4	健全な青少年を地域で育てます				
	予算区分	款	10	項	5	目	4	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	第3次小牧市生涯学習計画									
	目的	何・誰を対象に	市民、小学生、中学生、中学校地域コーディネーター								
		どの様な状態にするのか	学校地域コーディネーターの活動を通じて、地域が学校を支援する機会と、中学生が地域活動に参加する機会を推進する。また、青少年健全育成市民会議への補助を通じて、市民会議全体の活動のほか、各中学校区健全育成会の活動を推進し、青少年の健全育成を図る。								
	内容(手段) 目的達成のためにどのような事業を実施したか	<p>◆28年度実施内容</p> <p>・青少年の健全育成を啓蒙するため、市民でつくる青少年健全育成市民会議へ補助を行った。28年度から、「笑顔で さきがけ あいさつ運動」を展開することになり、啓発のためのチラシ・ポスターを作成啓発を行い、6月と11月に市内一斉のあいさつ運動を実施した。(補助金3,720千円)</p> <p>内容: あいさつ運動の推進、地域ふれあい活動の推進、いじめ・非行防止啓発活動、明るい家庭づくりの推進、安全安心の地域環境づくり、ネット犯罪やトラブルから青少年を守る運動の推進、青少年非行防止キャンペーン・青少年によい本をすすめる運動・家庭の日推進運動。少年センターが市民会議の事務局となっている。</p> <p>・学校地域コーディネーターを、各中学校へ1人～2人配置した。(報償費1,887千円) コーディネーターは学校と地域のパイプ役として学校と相談しながら活動し、ボランティアの取りまとめや子どもたちの地域活動の推進を図った。</p> <p>◆28年度直接経費の内訳(支出ベース) 学校地域コーディネータ謝礼等(1,887千円) 青少年健全育成市民会議補助金(3,720千円) その他、旅費、通信運搬費等(252千円)</p> <p>◆29年度直接経費の内訳(予算ベース) 学校地域コーディネータ謝礼等(3,280千円) 青少年健全育成市民会議補助金(3,720千円) その他、旅費、通信運搬費等(281千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	6,672	7,552	5,859	7,281	
		正職員	従事者数	人	0.50	0.50	0.50	0.50
			人件費	千円	2,814	2,814	2,814	2,814
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
	費用合計	千円	9,486	10,366	8,673	10,095		
対前年比	%			109.2	83.6	116.3		
財源	一般財源	千円	9,486	10,366	8,673	10,095		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

	活動指標名		単位	H26	H27	H28	H29
	業	中学校地域コーディネーター人数	目標	人	9	9	9
実績				15	15	14	
		目標					
		実績					
	成果指標名		単位	H26	H27	H28	H29
	中学校地域コーディネーター活動回数	目標	回	700	700	700	630
実績				733	733	635	
績		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業の自己評価	平成28年度の実施結果	事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校地域コーディネーター事業については、コーディネーターが支援する学校と地域をつなぐ活動が定着してきている。また、年2回の情報交換会を開催し、中学生ボランティアや学習支援について意見を交換し、各中学校区の取組状況を伺い、コーディネーター同士の情報共有を行った。</li> <li>・29年度から実施する学習支援事業「駒来塾」に向けて、コーディネーターから2名、駒来塾検討委員会委員の参加をいただくこととなった。</li> </ul>					
		事業実施における課題	学校地域コーディネーターの後継者育成及び人材の発掘。					
	平成29年度の実施内容	29年度における実施内容や結果見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・28年度から取り組み始めた「笑顔で さきがけ あいさつ運動」は継続して実施していく。</li> <li>・青少年健全育成市民会議の事業として、市内16小学校の内、9小学校の高学年性を対象に、スマホ教室を開催し、スマホ・ネットトラブルの危険性と犯罪に巻き込まれない予防知識を学ぶ機会を行っていく。</li> <li>・スマホの正しい理解を得るため、地域コーディネーターの情報交換会で外部講師を招いて、研修会を開催した。</li> </ul>					
	平成30年度の事業の方向性	方向性の判定	縮小	対象や手段の絞込み等により、事業のボリュームを縮小すべきもの				
	削減額・削減対象	事務事業評価による額	72	千円	予算区分	12	節	節
	判定理由・削減内容	中学校地域コーディネーターの活動において、専用の携帯電話を使用しているが、3校分は使用しておらず、活動に支障はないことが判明したため、平成30年度以降は、9校分から6校分に減額して通信運搬費の計上を図る。について、29年度予算額(12節役務費 1細節通信運搬費216千円)から72千円分を削減を図る。						
	30年度以降の実施内容	青少年健全育成市民会議の事業は、引き続いて実施していく。スマホ教室が16小学校中9校での開催であるため、未実施の学校での開催を行っていく。地域コーディネーターの人材課題は、引き続き情報交換会を行うなど、話し合いを行っていく。						

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	一次評価のとおり。 平成30年度以降の事業費(一般財源)は、原則的に、平成29年度当初予算の金額から本年度の事務事業評価による額を控除した金額を上限とするともに、引き続き、効果的・効率的な事業実施に努められたい。